

平成27年度第10回天童市教育委員会について（報告）

日 時 平成28年2月23日（火） 午前10時00分
場 所 教育委員会 第一会議室

<委員長あいさつ>

2月18日に長岡小学校で「天童デー給食」をいただきました。1年2組24名の児童と一緒にいただきましたが、弁当箱にご飯を盛ってもらい、どの子も一粒残さず食べていました。給食の時間は、ものを大切にする、もったいないという気持ちを養う、地元の食材を使う、仲間と一緒に協力してやる、そうしたことが子どもたちを豊かに育てる、まさに食育であると感じました。今後とも、安全・安心・おいしい給食を提供してください。

<議 事 >

議第37号 平成27年度教育委員会小中学校優秀児童・生徒の褒賞について
<可決する>

審議経過

委 員：ライフセービングというと海というイメージがあったので、初めて聞きました。プール競技会はどのようなものですか。

事務局：ライフセービング競技をプールで行うものです。いろいろな種目があるようです。

委 員：これまで出てこなかった競技ですね。初めてだと思います。

議第38号 天童市学校評議員の委嘱について

<可決する>

審議経過

委員長：新規に委嘱する方はおりますか。

事務局：5名全員が継続の委嘱です。

議第39号 平成27年度教育委員会所管3月補正（第8号）について

<可決する>

審議経過

教育長：国からの学校施設環境改善の補助は、年度当初から受けることは出来ないのですか。

事務局：今回は、国の平成27年度予算が年度末になって多少余裕が出たため採択されたもので、当初からの採択は難しい現状です。

今後とも、ルールに乗って要望していきたいと考えています。

委員長：平成28年度には、平成29年度に実施する分を要望するという
ことですか。

事務局：そのように考えています。

委員長：空調の工事は夏までには終わるのですか。

事務局：今年度と同じように騒音等の問題があるため、夏休み期間を利用し
ての工事となり、使用できるのは秋頃になります。

議第40号 平成28年度教育委員会所管予算について

<可決する>

審議経過

委員：タブレット端末を寺津小学校に導入するというのですが、その学
校からだけ提案されたものですか。

事務局：日新製菓教育振興基金を有効に活用するため、市内小中学校から多
くの様々な提案を受け、その中から、内容、学校規模など総合的に
検討して、モデル校として決定したものです。

委員：導入後の検証はどのように行うのですか。また、将来はどうするの
ですか。

事務局：効果・成果については、モデル校が第一に検証しますが、教育委員
会としても、他市等の事例なども参考にしてサポートしていきたい
と考えています。将来については、効果があるとなれば、教育用パ
ソコンの更新に合わせ、順次タブレットにしていきたいと考えてい
ます。

委員：使い方のレベルや意識も関係してくると思います。継続して実施し
ていくという前提であれば、やっている内容を公開・周知し、また、
他の学校の先生からも入ってもらい、いろんな面で活用できるよ
うにやってほしいと思います。

教育長：効果を上げるためにどうするかを考えることも重要だと思います。

委員：奨学生支援制度ですが、この予算額で十分なのでしょうか。どのよ
うな方を対象にしているのですか。

事務局：日本学生支援機構から奨学金の貸与を受けることができる大学生等
が対象となっています。本市の配分数が、地方創生枠5名、市町村
連携枠が2名の合計7名です。県と市町村が2万6千円を半分ずつ
支援する内容となっています。

教育長：学校支援コーディネーターですが、学校の裁量で予算が使えるよう
な内容ですか。

事務局：謝金が主ですので、学校の実情に応じて使いやすいように、内容に
よって幅が取れるようにやっていきたいと考えています。

委員：いろいろな資格を持っているのに、活動できる場が分からない人が
多くてもったいないと思います。コーディネーターは学校との関わ

りを持つ意味では大切だと思えます。実施する際、材料費などが必要な場合はどのようなのでしょうか。

事務局：学校と地域とのマッチングが重要であると思えます。地域からの情報が学校に入ってくると、いろいろと考えることができます。そのためのコーディネーターでもあります。消耗品については、予算額も限られているため、実施する際は事前に打合せを行いたいと思えます。

委員：地域のひととありますが、どこまでを範囲として考えているのでしょうか。

事務局：近隣の市町まではよいのではないかと考えています。

委員：市立公民館にも人材バンクがあると思えます。

事務局：生涯学習サポーターバンクがあり、ホームページに載っています。利用する側それぞれの考えもあり、声を掛けるのを躊躇しているのが実態ではないでしょうか。

委員：以前スポーツ指導の人材バンクがありましたが、現在は無くなりました。こうした方も新たにバンクに入れ、スポーツや文化などの指導に活用できるようにすればいいのではないのでしょうか。そのためのコーディネーターだとすれば、頑張ってもらいたいと思えます。

委員長：調和のとれた発達をするためには、学校も家庭も一緒になってやること、さらに、地域の協力をいただき、役割を分担しながら子どもたちを育てていくことが大切ではないかと思えます。
次に、地域づくり委員会についてですが、市長部局との連携はどのようなになっていますか。

事務局：地域づくり委員会推進行政委員会という組織があり、以前は地域から出された声をまとめていましたが、地域の課題は地域で考えて解決するということから、今は出てきていない状況です。

委員長：高齢化の中、地域力をどうつけていくかがこれから大事になってきます。今後も密接な連携を取ってほしいと思えます。

教育長：明治大学との連携事業を始めて7～8年になります。今後さらに発展させていくため、笑顔塾、未来塾など、産・学・官連携したもので、内容を見直し一歩前進させる必要があると思えます。

事務局：一般市民向けの笑顔塾には20数名の参加者がいます。女性会を対象にした事業では、魅力づくり、身体を動かす運動など行っていますが、それぞれのやり方を工夫したいと考えています。未来塾は2期生が2年目であり、地域のリーダーづくりと位置づけています。3期生まで育成していきたいと考えています。

委員：女性会の事業は、年齢的に高い方を対象とした内容になっています。ぜひ、働いている方にも参加しやすいように配慮していただきたいと思えます。

事務局：実態としては60代が中心で、次いで50代・70代が参加してい

ます。実施に当たりましては、女性会役員の方に相談し土・日に開催していますが、今後は、そうしたことも考慮していきたいと思えます。

教育長：学校給食センターの調理・配送部門が民間委託され2年になりますが、調理師が辞めるといったことはありませんでしたか。

事務局：直営の時より調理師が2～3名増加しています。委託先の人員は当初から1名減となりましたが、支障なく運営しています。

教育長：人の入れ替わりはありますか。

事務局：2～3名ありました。

教育長：米以外の地元産の食材はどの程度使われていますか。

事務局：野菜だけで見ますと、県内産が30.4%です。天童産となると15～16%です。なお、天童産野菜が十分な量の提供を受けることができる時期は、積極的に献立に取り入れています。

委員：平成28年度に新たに食物アレルギー対応給食をとる児童は何名いるのですか。

事務局：今調査している最中ですので、詳細は分かりません。

委員：現在、食物アレルギー対応給食を食べている児童の感想はどうですか。

事務局：みんなと変わりなく食べているようです。

委員：今、学校でも食物アレルギーについての面談を希望するかどうかの調査書を配布しています。面談を希望しない方はアンケートに記入してやり取りをするなど、丁寧な対応をしていただいております。

委員：以前、テレビ報道で、山形県の児童の肥満度が全国3位と聞きました。給食をたくさん摂ったからということではないと思いますが、子どもの糖尿病も増加しているようです。食生活の見直しのようなものを、深刻な状況になる前に発信していただきたいと思えます。

事務局：山形県の肥満度は全国的に高いようです。東村山学校保健委員会の中でも先生から話がありました。各学校では養護教諭さんがいろいろな取組みを行っているようです。給食センターとして肥満防止のための食育指導としては、おやつに関する指導はできるのではないかと考えています。

教育長：今日の午後、市内の様々な団体が集まる食育推進会議がありますが、これまでも塩分の問題など食生活の改善については、難しく苦労している様子が伺えました。

委員長：来年度も、安全でおいしい給食の提供をお願いします。

委員長：議事は以上です。委員の皆様から何かありませんか。

無いようですので、第10回教育委員会会議を終了します。